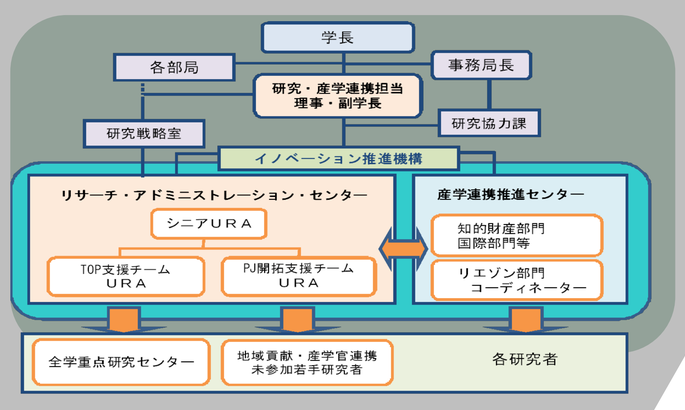
九州工業大学におけるURA事業の取り組み

平成24年度文部科学省事業「リサーチ・アドミニストレーターを育成・確保するシステムの整備」「地域貢献・産学官連携強化」事業タイプ採択校

組織体制の整備

強化された産学官連携の推進体制

（イノベーション推進機構を新設し、URAセンターと既存の産学連携推進センターを統合）



研究支援組織体制の改革にあわせ、研究支援人材であるURAのキャリアパス形成に向けて、

新しい人事制度を検討中

地域連携

地域貢献・産学官連携強化URA研究会

TV会議システムを活用

「地域貢献・産学官連携強化タイプ」で採択された4大学（東京農工大学、信州大学、福井大学、九州工業大学）が主催となってURAにおける共通の課題について話し合い、共に解決していくことを目標として発足。各大学内の関係事務部門や産学官連携コーディネータを含むネットワークを構築して、既存組織との役割分担など共通課題の解決を図る。

医歯工連携支援

バイオマイクロセンシング技術研究センター（当学重点研究センターの一つ）を中心とする地域連携型の研究開発プロジェクトの推進を支援

COI等地域と連携した大型プロジェクトの企画立案支援

福岡県、北九州市、ふくおかＩＳＴ（福岡県産業・科学技術振興財団）、ＦＡＩＳ（北九州産業学術推進機構）等との連携により地域管理法人からのＣＯＩ事業やスーパークラスター事業等への提案を支援

- 事業名：ＪＳＴ「研究成果展開事業（スーパークラスタープログラム）
- テーマ：スマートデバイス・ロボティクス融合クラスター ～開発成果の社会実装を通じた健康社会の実現を目指して～
- 提案者：財団法人福岡県産業・科学技術振興財団（中核機関） 福岡県、北九州市、福岡市

本学研究者の参画

★トライアルの研究開発・・・１テーマ
★可能性試験・・・４テーマ

北九州地区大学連携教育研究センター
地域連携による「ものづくり」継承支援人材育成協働プロジェクト（九州歯科大、産業医科大、北九州市立大、九工大）

医療分野、福祉分野、工学・技術分野という専門性と特色を活かしつつ、学習内容を相互補完・拡充し、地域のニーズに応じた学際的な視野を持った人材の育成を目指す。

平成２４年度文部科学省　大学間連携共同研究推進事業　採択

医歯工連携

人材育成

URA研修

- 産学連携推進センターと研究協力課の全面的協力により実施。
- 学内、学外におけるOJTの実施

座学内容

- 九州工業大学の概要
- 研究協力課の業務内容
- 産学連携推進センターの取組
- 経産省、NEDOの取り組み
- プログラム著作権管理
- 発明の届け出から権利化までの業務の流れ、先行特許調査
- ふぬけの特許
- 利益相反管理
- JST支援による外国出願
- TOPAM
- 国際交流、国際契約
- 安全保障輸出管理

研究協力課／リエゾン部門／知的財産部門／国際部門／安全保障輸出管理室／産学連携推進センター

イノベーション対話型ツール ワークショップ（案）

対話型ツールセミナー開催

平成26年4月30日

慶應義塾大学大学院システムデザインマネジメント研究科、特任講師の富田欣和氏を講師にお招きし、慶應義塾大学が文部科学省から委託を受けて開発を進めている「イノベーション対話ツール」について開発の背景やツールの内容、ポイントなどについて解説していただきました。

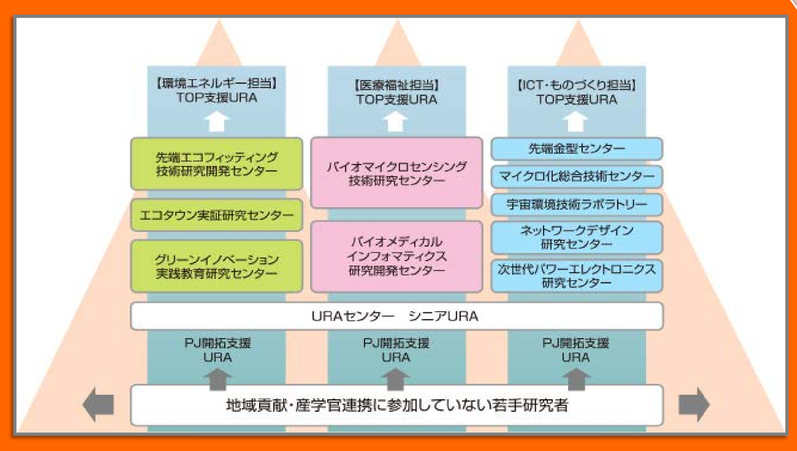
開催案

研究者シーズを活用する案	
テーマ	産業創出につながる新しいロボット開発
時期	１１月　中旬～下旬
内容（135分）	■ イノベーション対話型WSの説明（講師） ■ ワークショップ全体の説明 ■ ツールの各技法を用いた討論 ■ まとめ ■ グループ発表 ■ 総括
対象／人数（予定）	教員、学生、産学連携センター、研究協力課、北九州産業学術推進機構、URA、その他学内、他大学等 合計30名（5グループ）程度

ブレワークショップを開催

- 外部機関が実施するセミナー、研修会の参加
- 外部講師を招聘し、競争的資金獲得、共同研究契約等について研修会開催

頂点をより高く 裾野をより広く



・産学連携の強みを生かす
・次世代の研究者を育成

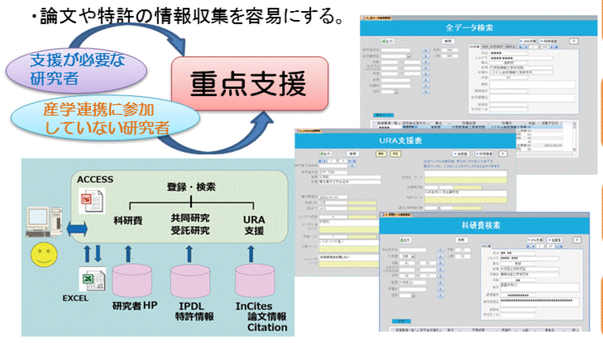
URA情報システムの構築

研究者情報等の整備

URA情報システムの構築

- 部署や担当者がそれぞれ持っていた外部資金に関するデータを関連部門の協力を得て一つに集約し、情報収集を容易にする。
- これまでに面談を行った研究者についての情報を共有し、より濃やかな支援策の立案につなげる。
- 論文や特許の情報収集を容易にする。

支援が必要な研究者
産学連携に参加していない研究者
→ 重点支援



マイクロソフト社のAccessをベースに開発を依頼。
↓
あちこちに散らばっていたデータを集め、システムに取り込めるように加工。
↓
実際のデータを取り込んでの動作確認を行い不具合を修正。
↓
Version.1の完成。現在運用中。今後バージョンアップの予定。

外部資金獲得UP

研究者への支援

科研費
- URA-Cafe「ザ・科研費」開催
- 学内説明会実施
- 科研費調書作成の手引書作成・配布
- 不採択調書の見直し（希望者全員）
- その他個別相談（系・分科・細目・種目相談等）
- 採択者の調書公開（学内限定）
- 調書作成支援（形式＋αチェック，ロジックチェック）

その他外部資金
- 外部助成金情報の提供（HP・メール配信）
- 〃　申請書作成支援
- 大型プロジェクト提案支援
- プレゼンテーション支援

URA支援研究者の採択率
61.7％
大学全体の採択率の
2倍以上

URAの準備
- 調査シート作成及び支援希望者の把握・主担当者決め
- ヒアリング時質問項目の作成
- 調書チェックシート作成
- 形式＋αチェック、ロジックチェックの２段階役割分担
- 複数体制によるチェックの実施

【今後の検討事項】
- 不採択者フォローアップ
- インセンティブ付与
- 作業分析（限られた人数で最大限の仕事をする）
- 科研費支援を行っている他大学の取組把握（ナレッジの共有）

アウトリーチ

URAシンポジウムの開催

第1回 2013.1.16 開催

第2回 2013.12.16 開催

HPで情報発信

URA-Cafeの開催

研究者とURAなどが気軽にディスカッションできる場づくりを目的に定期開催

国立大学法人 九州工業大学 イノベーション推進機構
リサーチ・アドミニストレーション・センター
http://www.kyutech.ac.jp/ura　福岡県北九州市戸畑区仙水町1-1